



馬の学校

馬の学校通信

2015. 2 vol.57

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市長区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail: mine@horseschool.org ホームページ: http://www.horseschool.org



春のプログラム 参加者募集!

馬とのふれあいプログラム (服部緑地乗馬センター)

- ① 日程: 4月4日(土) 午前8時40分~10時40分
 対象: 小学2年生~高校3年生(定員4名)
 内容: ブラシがけ・乗馬(成馬にてレッスン)
 馬小屋掃除・にんじんあげ

参加費: 1人 ¥8,000 (現地集合・解散)

- ② 日程: 4月5日(日) 午前8時40分~10時40分
 対象: 3歳~小学2年生(定員6名)
 内容: ブラシがけ・乗馬(ポニーにて引き馬)
 馬小屋掃除・にんじんあげ

参加費: 1人 ¥5,000 (現地集合・解散)

*開始時間が早くなっております。ご注意ください。

*申し込み締切 3月24日(火)

ファミリープログラム (ホースファーム・カトー)

- 日程: 4月18日(土) 12時~15時
 対象: 未就学児とご家族(定員6家族)
 内容: お弁当タイムのあと、ブラシがけ・乗馬(お子さんはポニー、大人の方は成馬にて引き馬)・にんじんあげ

参加費: 1家族(4名まで) ¥15,000 (現地集合・解散)

場所: ホースファーム・カトー

岐阜県各務原市須衛稲田 2424-1

*申し込み締切 4月10日(金)

★お申し込みは、会員の方は3月3日(火)から、一般の方は3月5日(木)から、電話、FAX、メールにて事務局まで!(留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

2月中は事務局の電話には出ることができません。お問い合わせはメールにてお願いいたします。

馬の学校 15周年イベント

今年、馬の学校は15周年を迎えます。みなさまのご理解とご支援・ご協力のもと、続けられてきたことに感謝いたします。

その感謝の気持ちも込めて、夏に小須田牧場にて15周年イベントを実施いたします。現在、日程のみ確定しており、内容は検討中です。またイベント前(8月3日~7日)に、小須田牧場での日帰りプログラムも計画中。詳細につきましては馬の学校活動報告ブログ、馬の学校通信(次号)にてお知らせいたしますので、楽しみに!

日程: 8月8日(土)・9日(日)

内容(検討中): ミルキー裸馬体験、馬の世話体験、バーベキュー、馬クイズ大会、馬の工作 など

2015年度会費納入のお願い

2015年度の会費納入につきましては、同封の郵便振替用紙にて、あるいは下記の口座番号までお願いいたします。(いずれかをお選び下さい)

<子ども会員・家族会員・大人会員>

プログラムに参加される方・通信の発送を希望される方
年会費 1,000円

<賛助会員>

馬の学校を応援して下さる方(プログラム参加・通信の発送も含む)

賛助年会費 3,000円~

<郵便振替 口座番号・加入者名>

0930-4-83224 馬の学校

*会員特典: 優先申し込み/年末にはカレンダーをプレゼント!





馬のおもちゃ⑥ 馬のお雛様

もうすぐ雛祭りということで、今回は馬のお雛様。出産のお祝いにいただいたのですが、手のひらサイズのかわいいお雛様です。一つ一つ手作りで、着物の古布を使っているとのこと。災いや病から女の子を守ってくれるというお雛様、馬だと力強く、そして優しく守ってくれるのかもしれない。娘は、家のお雛様は触っちゃだめと言われていたので、触ってもいいお雛様で楽しそうに遊んでいます。



馬のおすすめの本

『へいわってすてきだね』 ブロンズ新社
詩 安里有生 画 長谷川義史

2013年6月、「沖縄全戦没者追悼式」で朗読された詩に、長谷川義史さんが素敵な絵をつけた絵本です。「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。…ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。」平和は当たり前
の生活の中にあること、そしてかけがえのないものだ気づかせてくれます。



馬の郷土玩具 (6)

＜八朔の馬＞

福岡県・芦屋町で350年続く「八朔の節句」は旧暦8月1日（八朔）に、その年に生まれた男の子の健康と祝福を祝う伝統行事。現在は、9月1日に行われています。

このとき、家族や近しい人が何十と作って家に飾るのが「八朔の馬」。藁を束ねた馬に、名高い武士の紙人形とのぼりを立て、男の子のすこやかな成長を願うとともに、「領主に馬を贈れるくらい立派に出せするように」との思いが込められています。翌朝は、近隣の子どもたちが飾り馬をもらいにくるのが習わし。親は、わが子が地域に溶け込めるよう、「よろしくね」といって渡します。



＜のごみ人形 うま鈴＞

佐賀・能古見でつくられている郷土玩具「のごみ人形」は、昭和20年、終戦時の混乱と飢えのなか、ある染色家の「食べることも大事だけれど、心の栄養も大事。生活に潤いと楽しさを与えてくれるものをつくりたい」という、切なる思いから生まれました。「うま鈴」は、シンプルな造形のなかにも愛きょうがあり、南国風の鮮やかな色づかひが、見る人の心を明るくします。土鈴の音色は、悪霊退散のおまじないともいわれているそうです。（引用文献：天然生活2014年2月号）



馬の編集後記

この春は久々に新しい場所で新しいプログラムができることになりました。東海地方でも活動がしたいと思い、ずっと協力して下さる施設を探していたのですが、なかなか見つからず……。途方に暮れかけていたところ、ホースファーム・カトーとの素敵な出逢いがありました。名古屋市内から車で1時間ほどで自然豊かな立地、オーナー夫妻のあたたかな雰囲気、かわいいポニーたち。ファミリープログラムにぴったりです。小さな子どもたちとそのご家族を対象に、ゆっくりのんびり馬とふれあえるプログラムをとっています。

娘は無事に2歳を迎え、「ゆな～（がやる）」と言っては、いろいろなことを自分でやりたがり、日々挑戦中。ドキドキワクワクの娘、ハラハラドキドキ、時にはイライラ（笑）の母ですが、「やってみたい」と思う気持ちを大切に、成長を見守っていきたいと思います。

（峯崎 友香理）

